

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 宮田設計

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。 (様式第2号)
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念は社内やホームページにも書かれており、社長から会議や朝礼などことあるごとに社員に語ることで社員と共有している。 ・従業員は、経営理念と自らの仕事を結びつけることで会社のあるべき姿の実現に向け、協力合っている。									8	9											17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守については月次の定期会議などで法令遵守の重要性を従業員に向けて発信している。																				16					
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、月次の定期会議などで従業員向けその重要性を発信している。														10						16					
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として代表取締役を任命している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす影響(可能性)について把握するとともに、月次の定期会議や朝礼などで、従業員への啓発をはかっている。																				16					
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除については、従業員に対して、朝礼などで知的財産保護の啓発をはかっている。									8.2	9															
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・従業員に対して、朝礼などで情報漏洩防止の啓発をはかっている。																				16					
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・施主の声(特に質問、相談)を大事にし、施主とのコミュニケーションはもちろんのこと、建築に携わる業者にもその声が届くよう努めている。 ・建築の段階においても定期的に施主、業者との情報交換(現場の進捗写真の提供など)を図っている。																				16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5					8		10					12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●														9					11			13.1		16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●													8	9										17			
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2				5		8								12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・ハラスメントに関しては定期会議や朝礼などで、従業員への啓発をはかっている。				4.3	5.1				8.5		10.2									16.1	16.2	16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生については改善提案があればすぐに手を打ち、内容は従業員に共有されている。 ・労働安全衛生に対しては、従業員及び管理職に向けた教育や定期会議や朝礼などで、従業員への徹底をはかっている。			3						8.8																
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2	10.3													
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ワークライフバランスに力を入れており、業務効率化による労働時間の短縮や、フレックス・在宅ワークの導入による働き方改革に取り組んでいる。 ・残業時間の管理徹底や有給休暇の取得奨励により、健康増進、家事や育児への積極的参画などの環境を整えている。			3		5.5				8.5	8.8		10.3													
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修の受講や各種資格の取得を奨励しており、経費支援がある。 ・職種に応じて、適切な能力開発、教育訓練の場が提供されている ※1級・2級建築士、県主催の研修				4	5.5				8	9															
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・朝礼時に交通事故などへの注意喚起、健康チェックがされている。 ・健康診断は経費補助があり、毎年受診するよう、予約・実施の登録を管理されている。			3							8												17			
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、性別などの違いによる差別的待遇は無い。				4.4	5.1	5.5				8.5		10.2	10.3								16.7				
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・密を避けるためのフレックス、在宅勤務(テレワーク等)を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・事業所内では、飛沫防止パネルの設置、Web会議活用など実施している。			3							8	9.1		11	12											
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ICTを活用したマネジメントの実現に向け、業務改革に取り組んでいる。 ※3D CADの導入 ・社員へのPC、モバイル機器配付などIT投資によりテレワークを推進している。										8	9.1		11	12											
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4					8	9						12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 宮田設計

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、処理している。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社のエネルギー使用量を把握し、削減に努めている。 ・二重サッシ、省電力型エアコン導入によりオフィスの節電に取り組んでいる。 ・不在時の事務所消灯は徹底している。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に努めている。 ・社用車を2台ハイブリッド車とし、CO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。 ・設計においては周辺環境に配慮したものと生物多様性の保全に努めている。						6.6								14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙やエコ商品利用を推進している ・社内、お客様先でのペーパーレス化、裏紙の利用を促進している ・事業所から排出されるゴミは近くの業者(津田)に持ち込んでリサイクルされている。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」を実施している。 ※事業所内設備に節水器具を使用(新型節水トイレに入れ替え)		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入に努めている ・再生用紙やエコ商品の利用を推進している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●									6.4						12.3		14	15			17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3	15				17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 宮田設計

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・設計時、お客様の、建築物に対する思いと、各種の条件又は、予算等について話し合っており、最終の確認として複数の資格を持った建築士で確認している。 ・使用される資材は保証されたものを使用するように施工業者に確認している。 ・竣工検査を受けており、関係書類は法律に基づいて保管・管理している。			3.9											9		12.4																																								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・設計においてはお客様の住む方、利用される方の環境を聞き、さらに将来を想定したユニバーサルデザインを考慮している。 ・高齢者・障がい者にも配慮した手すりやスロープの設置、トイレ、動線の確保を心掛けている。														9.1	10	11.7						17																																		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●		・設計において、県産の原材料の優先的利用を促進し、事前に確保しておくなど地産地消を推進している。			2.3 2.4				7.3	8	9				11.a	12.3	13	14	15				17																																		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7									12.2	13.1	15																																					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●																		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																							
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●																			2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2					14	15			17																				
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、居住する地域の活動に参画するよう奨励している。 ・地域事業者として、地域の防災活動や自治会活動に参画している。 ※宇城建築士会主催のボランティア活動に企画・参加している。(清掃活動、スポーツ大会)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																																							
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員にハザードマップを周知している。 ・ハザードマップを踏まえた、災害に対応する保険に加入している。				4																						11.5			13.1		16																									
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		・地域事業者としての責任を果たすために災害時には建屋・駐車場を避難所として開放するようにしている。	1.5		3	4																									10.2	11.5			13.1		16	17																			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●																																9		11	12	13.1																					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●																			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																						
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●		・地元の高校生、大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。				4																										8.6			10.2				17																		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●		・地元の学生、若者を積極的に雇用している。 ・企業説明会を実施・参加している。				4.4																										8.5 8.6						17																			
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●																																					2			4.3 4.4 4.5						8.6			10.2			12	13	14	15		

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。